

【理学部】令和8年度 FD 活動の「年間計画」

1. 今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1) テーマ：

学生の学習マインド醸成にむけた公開授業・ワークショップの充実

(2) 目 的：

公開授業の主たる目的は教員の教授法の共有および向上にむけた FD 活動という側面であるが、一方で、授業は教員と学生がつくるものであるという立場に立てば、サービスを受ける学生にとっても、自らの学ぶ姿勢やマインドを醸成する良い機会である。そこで、ワークショップ（公開授業を含めて）の目的をこうした学習マインド醸成の場として捉えなおして、ワークショップの充実をはかる。

(3) 期待する効果：

学生が主体的に学ぶことを意識し、学習者本位の教育がより効果を発揮できるような意識の醸成を期待する。学習成果実感調査の回答率向上や、授業の事前・事後学習の時間確保には、学生自身の意識改革が必須であり、学びを受け取る側の意識改革にむけた取り組みとする。

2. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年1回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

(1) 公開授業・ワークショップ：

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

公開授業

- ・実施日時：令和8年度秋学期月曜2限目（詳細未定）
- ・場所：万有館4階B405教室
- ・科目名：惑星・恒星・銀河誕生の物理学
- ・担当教員名：河北 秀世 教授、西道 啓博 准教授
- ・科目選定理由：公開授業の後、ワークショップを開催することを考慮した曜日時限において開講されている宇宙物理・気象学科の要となる科目の中から、今までの宇宙物理・気象学科での公開授業の実績状況を鑑み選定した。

ワークショップ

- ・実施日時・場所：上記公開授業終了後
- ・実施内容：公開授業を参観した際の「気づき」を交換することで、授業者の振り返りの機会とするとともに、参加教員同士の交流を通して、自らの教授法を振り返る機会とする。特に、新任教員については、原則として参加を義務付ける。また学生にも参加を呼びかけて授業に関する意見交流を行うことで、学生の生の声を拾う機会とするほか、学生が自ら学ぶことを主体的にとらえる意識を醸成することを目的とする。

(2) その他研修会等：

※（1）以外の学部FDとして実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

以下を候補として、詳細を検討中である。

- ✓ 教学マネジメントに関する FD ワークショップ（アセスメントを中心に）
- ✓ 進路支援の現実と学生への意識付けについての研修会（進路・就職支援センター）
- ✓ 障がいのある学生への対応についての研修会
- ✓ ハラスメント防止を含む学生との距離の取り方の研修会

※この内容は本学における FD 活動の一環として、本学 HP に掲載します。